

公益社団法人日本技術士会鹿児島県支部

第31回CPD講演会（九州本部CPD・建設系CPD登録済）

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| (1) 13:30~15:00 (A1) | 九州本部 2005302802A01 |
| 「技術士のアイデンティティ～プロフェッションとは何か」 | |
| 西井康浩氏（九州本部倫理委員会委員長・技術士（建設）博士（工学）） | |
| (2) 15:15~16:45 (A2) | 九州本部 2109252802A04 |
| 「鹿児島県の海洋環境とエネルギー」 | |
| 山城 徹氏（鹿児島大学理工学研究科海洋土木学教授・博士（理学）） | |

日時：2021年11月20日（土） 13:30~16:45（途中休憩15分）

会場：かごしま県民交流センター大研修室2（3F）

鹿児島市山下町14-50

会費：日本技術士会会員 1,000円（会員番号を記載のこと）

非会員 1,500円

大学・高専課程在学学生（若干名） 無料「要学生証提示」

CPD単位：3単位

申込定員：先着50名（定員の50%未満）

（重要）COVID-19の感染状況によっては、中止する場合があります。

【参加者条件】

- ①事前予約者のみ参加できます。
- ②講演中は必ずマスクを着用してください。

申し込み締め切り 11月12日（金）12時

*申込定員に達した時点で募集を締め切ります。

*参加確定者には、11月13日（土）に参加案内及び注意事項をメール配信

（次回予告）第32回（2022年2月度）CPD講演会

日時：2022年2月19日（土）13:30~16:45

場所：かごしま県民交流センター大研修室2（3F）

第31回（2021年11月度）CPD講演会申込み先

（事務局：申込みはメールのみです。）

Mail：y-iuchi@ymt.bbiq.jp（鹿児島県支部事務局）

★2021年11月度CPD講演会 参加申込み記載事項（必須事項）★

- 1 参加者区分：会員（日本技術士会会員番号を記載）、非会員、学生
*会員番号未記載の場合、非会員扱いとします。
- 2 氏名 及び ふりがな
- 3 会社名（TEL）、又は学校名（学年）
- 4 技術士の方は登録部門
- 5 メールアドレス（参加案内及び緊急連絡用）

講演概要

■講演（1）

講演タイトル：「技術士のアイデンティティ ～プロフェッションとは何か～」

講師：西井 康浩（九州本部倫理委員会委員長・技術士（建設）博士（工学））

講演概要：

技術士は、プロフェッショナルエンジニア（以下、PE）です。ただし PE を対外的にアピールする際には、客観性のある定義を可視化しておく必要があります。苦勞して資格は取ったものの、技術士としての自己実現はどう図ればよいのか、そこに技術士としてのアイデンティティを見つけることはできるのか、何かインセンティブはあるのかなど、技術士個人の深層にあるモチベーションに触れることは、最も興味あるところと考えます。

本講演では、プロフェッションを担う意義と責務、また技術士の” well-being” を考えたときの技術士アイデンティティについて、技術士の志向倫理やプロフェッションの本来の意味、さらには今後の技術士制度を見通して私見を紹介するものです。

キーワード

プロフェッション、エンジニアリング、キャリア、アイデンティティ、技術者倫理

■講演（2）

講演タイトル：「鹿児島県の海洋環境エネルギー」

講師：山城 徹（鹿児島大学理工学研究科海洋土木学 教授・博士（理学））

講演概要：

2011年3月に発生した東日本大震災の福島原子力発電所の事故以降、太陽光、風力、バイオマス、地熱、小水力、海洋などを利用した環境への負荷が小さい再生可能エネルギーが注目されている。太陽光や風力発電は既に実用化され、海洋発電は2013年4月に発表された第二期海洋基本計画の中で、革新的な技術シーズの育成、発電システムの開発、実証実験などの技術研究開発を実施することが明記され、2030年以降の実用化が目標とされている。

海洋発電には、洋上風力発電、波力発電、潮流発電、海流発電、海洋温度差発電などがあり、これらの発電は地域の気象海象条件に影響される。本講演では、海洋の仕組みを説明した後、周囲を海で囲まれた鹿児島県において、上記した海洋発電がどの地域で有効であるか、エネルギーポテンシャルの点から紹介する。

キーワード

黒潮、潮流、海洋温度差